

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位				
I-1-(2)-⑤ 子どもの特性を伸ばす教育の充実	1	博物館セカンドスクール事業	自然史・歴史博物館普及課	博物館を第二の学校と位置づけ、修学旅行・社会見学など学校教育の一環として、子どもたちの博物館利用の促進を図るものである。	学校団体誘致数	1,116団体 (H24年度)	目標 1,000 団体 実績 1,263 団体 達成率 126.3 %	1,000 団体 1,316 団体 131.6 %	1,200 団体	1,200 団体	1,200団体以上 (毎年度)	継続	1,857	1,857	維持	16,075	課長 0.05 人 係長 0.50 人 職員 1.40 人	順調	引き続き修学旅行や社会見学の誘致活動を行うとともに、当館の魅力を積極的にPRし、更なる来館者増を目指す。	順調	子どもの特性を伸ばす教育の充実に資する事業を進めており、引き続き事業に取り組んでいく。
	2	文学館普及研究費	文学館	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介するとともに、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信する。	企画展の入館者数 (単位：人)	10,741人 (H23年度)	目標 22,000 人 実績 26,564 人 達成率 120.7 %	22,000 人 23,436 人 106.5 %	22,000 人	22,000 人	22,000人 (H29年度)	継続	19,125	18,624	維持	12,625	課長 0.50 人 係長 0.50 人 職員 0.25 人	順調	引き続き企画展や文学館のPRを行うなど、市民が文学に接する機会の提供に努め、入館者数の増加に繋げる。		
I-1-(3)-② 家庭教育支援の充実	3	家庭・地域・学校パートナーシップ事業	生涯学習課	家庭教育学級や子育てサポーターなどの活動を通じて、保護者の不安を軽減するため、関係機関や関係部局と連携しながら、情報提供、啓発活動を行い、保護者が家庭教育について学ぶ機会の充実、子どもの基本的な生活習慣定着への理解を促すための情報提供、啓発活動を進める。それぞれの地域の特色を生かし、家庭・地域・学校が連携して、子どもたちに様々な体験活動や世代間交流の機会を提供し、地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を高め、地域全体で子どもの健全育成に取り組む機運を醸成する。	朝食を毎日「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合	小：93.0% 中：91.9% (H25年度)	小：97% 中：95%	小：98% 中：97%	小：99% 中：99%	小：100% 中：100% (H30年度)	継続	9,358	9,473	維持	9,150	課長 0.10 人 係長 0.20 人 職員 0.80 人	順調	「家庭教育学級」は、今後も、より多くの保護者の参加を目指した学級を開催するとともに、幼児期の保護者への啓発を継続して行う。「子育てサポーター」においては、子育てサポーターが活躍できる講座を市民センターで開講するなど、今後も関係課と協議し、子育てサポーターの活用策について具体化を目指す。	順調	家庭教育支援の充実が図れる「家庭教育学級」の開催や「子育てサポーター」の活躍の場を設ける事業を展開する。	
I-1-(3)-③ 地域全体が教育を支える社会の実現	4	家庭・地域・学校パートナーシップ事業	生涯学習課	家庭教育学級や子育てサポーターなどの活動を通じて、保護者の不安を軽減するため、関係機関や関係部局と連携しながら、情報提供、啓発活動を行い、保護者が家庭教育について学ぶ機会の充実、子どもの基本的な生活習慣定着への理解を促すための情報提供、啓発活動を進める。それぞれの地域の特色を生かし、家庭・地域・学校が連携して、子どもたちに様々な体験活動や世代間交流の機会を提供し、地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を高め、地域全体で子どもの健全育成に取り組む機運を醸成する。	朝食を毎日「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合	小：93.0% 中：91.9% (H25年度)	小：97% 中：95%	小：98% 中：97%	小：99% 中：99%	小：100% 中：100% (H30年度)	継続	9,358	9,473	維持	9,150	課長 0.10 人 係長 0.20 人 職員 0.80 人	順調	「家庭教育学級」は、今後も、より多くの保護者の参加を目指した学級を開催するとともに、幼児期の保護者への啓発を継続して行う。「子育てサポーター」においては、子育てサポーターが活躍できる講座を市民センターで開講するなど、今後も関係課と協議し、子育てサポーターの活用策について具体化を目指す。	順調	地域全体が教育を支える社会の実現に資する「家庭教育学級」の開催や「子育てサポーター」の活躍の場を設ける事業を展開する。	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
I-3-(1)-① 多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供	5	生涯学習活動促進事業	生涯学習課	各市民センター等で、地域課題や現代的課題等の解決を目指す講座、心と体の健康づくりを目指す講座など幅広い分野にわたる講座を実施する。また、生涯学習市民講座等の手法を活用して意見交換の場を設け、これまで利用していなかった地域住民等に参加を呼びかけて意見交換、情報交換を行い、地域活動や市民センター事業、学校支援事業等への参加を促すほか、地域課題解決のための学習会を行う地域デビュー支援事業を実施する。	生涯学習市民講座参加者数	93,589人 (H25年度)	目標 104,700人	実績 99,667人	106,000人	100,000人	100,000人	100,000人	継続	15,329	15,463	維持	6,900	課長	0.10人	順調	地理的な理由から市民センターを利用しにくい住民に学習機会を提供するため、サブセンターでも講座を実施するとともに、引き続き、地域課題解決に向けた講座を実施するなど多様な学習機会を提供していく。また、地域デビュー支援事業については、前年度に実施した市民センターが取組みの成果を出しているよう、効果測定を検討する。	順調	地域と市民センターをつなぐ生涯学習推進コーディネーターを活用して、市民センター等で様々な学習機会を提供していく。
	生涯学習活動に関する満足度	96.3% (H25年度)	目標 90%	実績 88%	90%	90%	90%	90%	90%以上 (H32年度)	係長	0.20人	職員						0.50人					
	6	生涯学習推進コーディネーター配置事業	生涯学習課	生涯学習の推進ならびに市民センター等の活性化を図るため、学習機会や人材等、地域に関する様々な情報の収集や提供を行う生涯学習コーディネーターを、全市民センターに配置する。	生涯学習推進コーディネーターの配置割合	56.2% (H25年度)	目標 100%	実績 64.6%	100%	65%	70%	85% (H32年度)	継続	10,948	10,705	維持	3,650	課長	0.10人	やや遅れ	生涯学習推進コーディネーターの配置の意義、効果に加え、人材の見つけ方などを社会教育主事等が助言しながら、全館配置に向け取り組むとともに、配置されたコーディネーターが定着しやすい環境を整える。また、平成29年度生涯学習推進コーディネーターの推薦依頼時には、コミュニティ支援課長会議で制度への理解や必要性を説明し、市民センターへの周知徹底を強化を行う。		

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）			
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度					H29年度	中期 目標	金額 （千円）					職位	人数	
I-3-(2)-① 地域活動をリードする人材の育成	7	北九州市民カレッジ事業	管理運営課	市民に高度で専門的かつ多様な学習機会を提供し、自己実現の促進および、生涯学習社会を担う人材の育成を図るための事業。 北九州市民カレッジの講座は、生涯学習総合センター主催コース（まちづくり・人材育成系、総合・教養系の2コース）と高等教育機関提携コースを前期・後期の2期で実施。	受講者数 (H28年度から八幡西生涯学習総合センター実施分も含む)	690人 (H25年度)	目標 720人	実績 769人	750人	1,380人	1,410人	対前年度 30人増	継続	5,742	5,668	維持	21,850	課長	0.40人	順調	多様化する学習ニーズや課題を的確に把握するとともに、高等教育機関等との連携を更に進めていく。	順調	H29年度に向けて強化・見直した内容
	受講者の満足度	90% (H25年度)	目標 90%	実績 98%	90%	95%	95%	95% (毎年度)	係長	0.90人													
			目標 90%	実績 98%	90%	95%	95%	95% (毎年度)	職員	1.10人													
I-3-(2)-① 地域活動をリードする人材の育成	8	生涯学習活動促進事業	生涯学習課	各市民センター等で、地域課題や現代的課題等の解決を目指す講座、心と体の健康づくりを目指す講座など幅広い分野にわたる講座を実施する。また、生涯学習市民講座等の手法を活用して意見交換の場を設け、これまで市民センターをあまり利用していなかった地域住民等に参加を呼びかけて意見交換、情報交換を行い、地域活動や市民センター事業、学校支援事業等への参加を促すほか、地域課題解決のための学習会を行う地域デビュー支援事業を実施する。	生涯学習市民講座参加者数	93,589人 (H25年度)	目標 104,700人	実績 99,667人	106,000人	100,000人	100,000人	100,000人	継続	15,329	15,463	維持	6,900	課長	0.10人	順調	地理的な理由から市民センターを利用しにくい住民に学習機会を提供するため、サブセンターでも講座を実施するとともに、引き続き、地域課題解決に向けた講座を実施するなど多様な学習機会を提供していく。また、地域デビュー支援事業については、前年度に実施した市民センターが取組みの成果を出して人材育成につなげることができるよう、効果測定を検討する。	順調	H29年度に向けて強化・見直した内容
	生涯学習活動に関する満足度	96.3% (H25年度)	目標 90%	実績 88%	90%	90%	90%	90%以上 (H32年度)	係長	0.20人													
			目標 90%	実績 88%	90%	90%	90%	90%以上 (H32年度)	職員	0.50人													
I-3-(2)-① 地域活動をリードする人材の育成	9	<新>地域課題解決のための人材活用支援事業	生涯学習課	地域が主体的に地域課題を解決することができるよう、地域人材の発掘～育成～活用までを体系的に支援し、地域力アップにつながる仕組みをつくる。学習者等と地域活動を行う団体との「お見合い会」を開催する「人材マッチングモデル事業」や「地域活動をリードする人材育成事業」を実施する。	「地域活動をリードする人材やボランティア活動に参加する人材が増加している」と感じるに肯定的な回答をした割合	37.6% (H27年度)	目標 54%	実績 37.6%				60%以上 (H32年度)	—	—	1,000	—	5,400	課長	0.10人	—	学んだ成果を活かしたい人はいるが、学習者や活動者と地域との顔つなぎができていない。地域をリードする人材育成についても、各人材に求められる資質・能力が明確にされていないため、研修体系が整備されておらず、効果的な研修が行われていない。そのため、学んだ成果を地域に活かすセミナー及び交流会を開催し、地域との顔つなぎを行う。また、人材育成のための研修を充実させる。	—	H29年度に向けて強化・見直した内容
			目標 54%	実績 37.6%				60%以上 (H32年度)	係長	0.20人													
			目標 54%	実績 37.6%				60%以上 (H32年度)	職員	0.30人													
I-3-(2)-② 地域を支えるボランティアの育成	10	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数（累計）	18法人 (H24年度)	目標 45法人	実績 47法人	60法人	75法人	90法人	90法人 (H29年度)	継続	20,420	20,137	維持	20,700	課長	0.30人	順調	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会等を引き続き開催するとともに、地域に支えられるNPOを育成するため、研修等の充実を図る。	順調	H29年度に向けて強化・見直した内容
	サポートセンター利用者数	18,362人 (H20年度)	目標 23,000人	実績 23,127人	23,500人	24,000人	24,500人	24,500人 (H29年度)	係長	0.60人													
			目標 23,000人	実績 23,127人	23,500人	24,000人	24,500人	24,500人 (H29年度)	職員	1.50人													

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数		
II-1-1 (1)-② 市民の消費生活の安定と向上	11	消費者啓発の推進	消費生活センター	悪質化・巧妙化する消費者被害を未然に防止するため、法律相談会や消費者啓発・教育講座等、消費者自身が危機回避や被害にあった場合の適切な対処法を身に付けるための各種事業を実施するなど、啓発の推進や支援を行う。	消費生活センターの認知度	目標	90 %	90 %	90 %	90 %	90%以上 (毎年度)	継続	29,086	25,081	減額	8,075	課長	0.05	人	順調	これまで取り組んできた出前講座等による啓発活動に加え、高齢者を中心に被害が増加しているニセ電話詐欺の未然防止のため、市主催のイベントや事業等を活用し、集中的に注意喚起を行う。あわせて「地域のお世話役」として活躍できる賢い消費者の育成を図り、地域での見守りの輪を広げる。	順調	引き続き出前講座等による啓発活動を実施するとともに、市主催のイベントや事業等を活用し集中的に注意喚起を行う。あわせて「地域のお世話役」として活躍できる賢い消費者の育成を図り、市民の消費生活の安定と向上を図る。	
						実績	92.4 %	93.1 %																
II-1-1 (3)-① 「北九州市安全・安心条例」の制定と安全・安心に関わる施策の推進	12	日本トップクラスの安全・安心なまちづくり関連事業	安全・安心推進課	警察、関係団体等と連携し、市民等の防犯意識の向上や自主防犯活動の活発化、安全・安心な環境の整備などに取り組み、日本トップクラスの安全・安心なまちづくりを推進する。	防犯パトロール活動への参加者数	目標			12,000 人	14,000 人	16,000 人	20,000 人以上 (H31年度)	継続	15,635	15,663	維持	15,900	課長	0.10	人	順調	地域防犯活動の次世代の担い手の育成や、自主防犯活動を市内外に情報発信することで、活動者の拡大やモチベーションの高揚を図る。さらに、市外から転入した大学生等に、本市の安全・安心の取り組みや成果を学習・体験してもらい、その体験談や防犯知識等を、若者の視点で、情報発信してもらうことで、本市の体感治安や安全な都市イメージの向上を図る。	順調	引き続き、安全・安心に関わる様々な施策を実施するとともに、地域防犯活動の次世代の担い手の育成、活動者の拡大やモチベーションの高揚、安全安心に関する情報発信などに取り組む。
						実績				14,170 人														
II-1-1 (3)-① 「北九州市安全・安心条例」の制定と安全・安心に関わる施策の推進	13	子どもと女性の「防犯力アップ」事業	安全・安心推進課	子どもと女性の犯罪被害を防止するため、子ども自身や子どもを見守る保護者、女性を対象とした安全セミナー等を開催し、防犯意識や知識の向上を図る。	「安全セミナー」「地域安全マップづくり」延べ実施校	目標			50 校	75 校	80 校	125校 (H31年度)	継続	2,000	1,900	減額	15,900	課長	0.10	人	順調	引き続き、地域安全マップづくりや、犯罪被害防止教室等を通して、子どもと女性の防犯意識の向上を図る。	順調	引き続き、安全・安心に関わる様々な施策を実施するとともに、地域防犯活動の次世代の担い手の育成、活動者の拡大やモチベーションの高揚、安全安心に関する情報発信などに取り組む。
						実績				56 校														
II-1-1 (3)-① 「北九州市安全・安心条例」の制定と安全・安心に関わる施策の推進	14	安全・安心総合相談ダイヤル事業	安全・安心相談センター	市民生活の身近な安全・安心に関する相談を受け付ける「安全・安心総合相談ダイヤル」を円滑に運用し、市民の相談機会の充実と不安感解消を図る。	安全・安心総合相談ダイヤルの認知度	目標			—	25%以上 (28年度)	前年度比増	前年度比増 (毎年度)	継続	20,310	21,640	維持	15,900	課長	0.10	人	順調	市民が気軽に相談できる体制を整えることで、より効果的な運用を図る。	順調	引き続き、安全・安心に関わる様々な施策を実施するとともに、地域防犯活動の次世代の担い手の育成、活動者の拡大やモチベーションの高揚、安全安心に関する情報発信などに取り組む。
						実績				22 %														
						達成率																		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
II-1- (3)-② 防犯活動の強化	15	地域防犯対策事業	安全・心推進課	北九州市安全・安心条例では、「市民等は安全・安心に関する意識を自ら高め、行動すること」「市及び市民等は相互に連携を深め、防犯活動を協力して推進すること」と定められている。この事業では、市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進し、安全・安心を実感できるまちの実現を図る。	街頭犯罪件数	目標	5,212件 (233件減) (平成25年度)	前年 (5,212件) 比減	前年 (4,973件) 比減	前年 (3,706件) 比減	前年比減	継続	33,346	33,630	維持	15,900	課長	0.10人	順調	これまでの地域防犯対策事業に加え、市民・警察・関係団体等と連携し、防犯意識の向上と自主防犯活動の一層の促進を図り、安全で安心なまちづくりを目指す。	順調	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
						実績	4,973件	3,706件														
						達成率	239件減	1,267件減														
						目標	77% (平成25年)															
	実績	73%	73.7%																			
	達成率	95.0%	101.0%																			
	目標	前年度比増	前年度 (73%) 比増	前年度 (73.7%) 比増	前年度比増	平成31年度 90%																
	実績	73%	73.7%																			
	達成率	95.0%	101.0%																			
	目標	前年 (12,372件) 比減	前年 (11,267件) 比減	前年比減	前年比減	継続	169,822	154,797	減額	3,435	課長	0.04人	順調	引き続き、地域と市が連携し、防犯灯の設置や管理を推進する。また、維持管理費用の低減を図るため、LED化を推進し、地域への補助等を実施しながら明るく安全なまちづくりを推進する。	順調	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）						
	実績	11,267件	9,682件																			
	達成率	1,105件減	1,585減																			
	目標	73% (平成26年)																				
	実績	73%	73.7%																			
	達成率	95.0%	101.0%																			
目標	前年度 (77%) 比増	73%	73%	前年比増	平成31年度 90%																	
実績	73%	73.7%																				
達成率	95.0%	101.0%																				
目標	前年 (1,239件) 比減	前年 (1,073件) 比減	前年比減	前年比減	継続	45,711	45,711	維持	3,435	課長	0.04人	順調	主要幹線道路や小倉北区、八幡西区の繁華街に既に設置している防犯カメラの適正な運用を引き続き実施する。	順調	安全で安心なまちづくりのため、ソフト面では市民や警察、関係団体との連携し、ハード面では防犯灯や防犯カメラの設置や維持管理を進める。							
実績	166件減 (13%減)	114件増																				
達成率	—	11%増																				
目標	73% (平成26年)																					
実績	73%	73.7%																				
達成率	95.0%	101.0%																				
目標	前年度 (77%) 比増	73%	73%	前年比増	平成31年度 90%																	
実績	73%	73.7%																				
達成率	95.0%	101.0%																				
目標	前年 (11,267件) 比減	前年 (11,267件) 比減	前年比減	前年比減	継続	25,000	22,750	維持	3,435	課長	0.04人	順調	引き続き、地域や事業者の防犯カメラ設置や管理を推進する。	順調	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）							
実績	11,267件 (平成26年)	9,682件																				
達成率	1,585減																					
目標	73% (平成26年)																					
実績	73%	73.7%																				
達成率	101.0%																					
目標	前年度 (77%) 比増	73%	73%	前年比増	平成31年度 90%																	
実績	73%	73.7%																				
達成率	101.0%																					
目標	前年 (11,267件) 比減	前年 (11,267件) 比減	前年比減	前年比減	継続	20,000	21,940	増額	3,435	課長	0.04人	—	引き続き、夜間の通学路の明るい環境づくりを推進する。	—	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）							
実績	9,682件 (平成27年)																					
達成率																						
目標	73.7% (平成27年)																					
実績	73.7%																					
達成率																						
目標	前年度 (77%) 比増	73%	73%	前年比増	平成31年度 90%																	
実績	73.7%																					
達成率																						

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）			
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数		
II-1-(3)-③ 暴力団追放運動の推進	20	暴力追放の推進	安全・安心相談センター	社会全体で暴力団を排除する取り組みを推進するため、事業者・市民の暴力追放総決起大会や暴力追放強調月間による集中的な啓発活動などを実施し、官民一体となって取り組む。	暴追対策に対して評価した市民の割合	48% (平成25年)	目標	前年度比増	前年度比増	72%以上	前年度比増	前年度比増 (毎年度)	継続	10,920	16,273	増額	12,850	課長	0.40	順調	警察・行政・市民とが連携・協力して、安全・安心なまちづくりを促進する環境を整え、市民意識の高揚を図る。また、市民の不安感の払拭に向けて、引き続き暴追活動を行う。	順調	警察や市民との連携した安全で安心なまちづくりを促進するとともに、市民意識の高揚を図る。また、市民が気軽に相談できる体制を実施する。	
						実績	68%	70%																
						達成率	142.0%	103.0%																
						目標	前年度比増	前年度比増	75%以上	前年度比増														
企業における暴力団排除条項の規定割合	55.8% (平成25年)	目標	前年度比増	前年度(55.8%)比増	75%以上	75%以上 (29年度)	係長	0.30	職員	0.70														
実績		73.4%																						
達成率		131.5%																						
II-1-(3)-③ 暴力団追放運動の推進	21	民事介入暴力相談事業	安全・安心相談センター	市民生活への暴力団等の介入を排除し、安全・安心なまちづくりを図るため、民事介入暴力相談を実施。	暴追対策に対して評価した市民の割合	48% (平成25年)	目標	前年度比増	前年度比増	72%以上	前年度比増	前年度比増 (毎年度)	継続	26,865	27,238	維持	4,300	課長	0.20	順調	市民が気軽に相談できる体制を整えることで、より効果的な運用を図る。	順調		
						実績	68%	70%																
						達成率	142.0%	103.0%																
						目標	前年度比増	前年度(55.8%)比増	75%以上	前年度比増														
企業における暴力団排除条項の規定割合	55.8% (平成25年)	目標	前年度比増	前年度(55.8%)比増	75%以上	75%以上 (29年度)	係長	0.20	職員	0.00														
実績		73.4%																						
達成率		131.5%																						
II-1-(3)-④ 交通安全の推進	22	交通安全推進事業	安全・安都市整備課	第9次北九州市交通安全計画に基づき、重点項目について啓発を実施。生涯にわたる交通安全教育及び効果的な広報啓発活動により、市民に広く交通安全思想を普及し、交通事故防止を図るもの。	交通事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	8,325件 (H26年)	目標	前年(8,949件)比減	前年(8,325件)比減	前年(8,075件)比減	前年比減	平成32年度までに7,300件以下	継続	5,440	7,802	その他	9,800	課長	0.20	順調	引き続き、交通安全での教育や広報啓発などを実施し、交通事故防止を図る。	順調		
						実績	8,325件	8,075件																
						達成率	624件減	250件減																
						目標	前年(22人)比減	前年(23人)比減	前年(23人)比減	前年比減														
	交通事故死亡者数（警察統計のため暦年でカウント）	23人 (H26年)	実績	23人	23人		平成32年度までに19人以下	係長	0.30	職員	0.60													
	達成率	+1人	±0人																					
	II-1-(3)-④ 交通安全の推進	23	交通安全センター管理運営	安全・安都市整備課	北九州市立交通安全センターを管理するとともに、交通安全教室等を開催し、自転車の安全運転や、交通ルール・マナーの徹底を図る。	交通事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	8,325件 (H26年)	目標	前年(8,949件)比減	前年(8,325件)比減	前年(8,075件)比減	前年比減	平成32年度までに7,300件以下	継続	27,573	27,573	維持	3,650	課長	0.10	大変順調	引き続き、交通公園での交通安全教室などで、自転車の安全運転を促進し、交通事故防止を図る。	順調	市民の交通安全に繋がるよう、啓発活動や交通安全教室を開催する。また、自転車の安全利用を推進する。
							実績	8,325件	8,075件															
達成率							624件減	250件減																
目標							前年(1,069件)比減	前年(972件)比減	前年(850件)比減	前年比減														
自転車関連事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）		972件 (H26年)	実績	972件	850件		前年比減 (毎年)	係長	0.10	職員	0.20													
達成率		97件減	122件減																					
II-1-(3)-④ 交通安全の推進		24	「自転車マナーアップ北九州」推進事業	安全・安都市整備課	自転車のルール・マナーアップを推進するため、自転車交通ルール検定の実施など自転車安全教育や啓発の更なる推進とともに、万が一に備えた自転車保険の加入促進に取り組む。	自転車関連事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	972件 (H26年)	目標	前年(1,069件)比減	前年(972件)比減	前年(850件)比減	前年比減	前年比減 (毎年)	継続	2,000	2,000	維持	5,400	課長	0.10	大変順調	引き続き、自転車交通ルール検定の実施などにより、自転車の安全利用を推進し、自転車関連事故の防止を図る。また、自転車保険の加入促進なども取り組む。	順調	
							実績	972件	850件															
	達成率						97件減	122件減																
	目標						前年(1,069件)比減	前年(972件)比減	前年(850件)比減	前年比減														
自転車関連事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	972件 (H26年)	実績	972件	850件		前年比減 (毎年)	係長	0.20	職員	0.30														
達成率	97件減	122件減																						

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
II-1- (3)-⑤ 非行や犯罪を生まない地域づくり	25	地域防犯対策事業	安全・心推進課	北九州市安全・安心条例では、「市民等は安全・安心に関する意識を自ら高め、行動すること」「市及び市民等は相互に連携を深め、防犯活動を協力して推進すること」と定められている。この事業では、市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進し、安全・安心を実感できるまちの実現を図る。	街頭犯罪件数	5,212件 (233件減) (平成25年度)	目標 前年 (5,212件) 比減	前年 (4,973件) 比減	前年 (3,706件) 比減	前年比減	継続	33,346	33,630	維持	15,900	課長	0.10	順調	これまでの地域防犯対策事業に加え、市民・警察・関係団体等と連携し、防犯意識の向上と自主防犯活動の一層の促進を図り、安全で安心なまちづくりを目指す。	順調	地域防犯対策事業や市民や警察、関係団体等との連携を推進する。これにより、市民の防犯意識を高め、非行や犯罪を生まないまちづくりを目指す。		
						実績 4,973 件	3,706 件	達成率 239件減	1,267件減	平成31年度 90%						係長	0.35					職員	1.50
II-3- (4)-① 平和の尊さへの理解の促進	26	戦時資料展示コーナー管理運営事業	地域振興課	本事業は、市民からご寄贈いただいた戦時下の資料を保管、展示することにより、北九州市立埋蔵文化財センター内に開設した戦時資料展示コーナーにおいて、戦争がもたらした惨禍と平和の尊さを多くの市民に理解していただく。	戦時資料展示コーナー見学者数	3,647人 (H22年度)	目標 4,000 人	4,000 人	4,000 人	4,000 人	継続	1,420	1,453	維持	1,220	課長	0.03	順調	戦争がもたらした惨禍と平和の尊さを、多くの市民に理解していただくため、既存資料を活用し、より分かりやすい展示の充実を図るとともに、広報活動により一層力を入れ、入場者数の増加につなげる。	順調	引き続き、平和の尊さへの理解の促進を図るため、既存資料を活用し、より分かりやすい展示の充実を図るとともに、広報活動により一層力を入れ、入場者数の増加につなげる。		
						実績 3,986 人	3,972 人	達成率 99.7 %	99.3 %	係長						0.05	職員					0.05	
III-1- (1)-④ 市民のモラル・マナーの向上	27	モラル・マナーアップ関連条例推進事業	安全・心市備課	条例や基本計画に基づき下記事業に取り組む。 ・小倉・黒崎地区（迷惑行為防止重点地区）での巡視活動（過剰の適用） ・地域が実施する迷惑行為防止活動に対する支援 ・小学生を対象としたモラル・マナーアップ教育 ・モラル・マナーアップに関する広報啓発	迷惑行為防止に係る地域活動団体の増加	82団体 (H26年度)	目標 前年度 (82団体) 比増	前年度 (87団体) 比増	前年度比増	前年度比増 (毎年)	継続	29,492	29,492	維持	6,150	課長	0.10	順調	引き続き、条例や基本計画に基づいた事業に取り組んでいく。	順調	条例や基本計画の認知度を上昇させるため広報活動などを行い、また、迷惑行為防止重点地区への路面標示の整備を行う。		
						実績 87 団体	5団体 増	前年度以下 (毎年)	係長							0.20	職員					0.40	
	28	迷惑行為防止重点地区サイン整備事業	安全・心市備課	迷惑行為防止重点地区内の路面標示等サイン整備の充実を図ることと、円滑な巡視活動や広報・周知の取り組み強化につなげ、市民のモラル・マナーアップを推進する。	迷惑行為防止に係る地域活動団体の増加	82団体 (H26年度)	目標 前年度 (82団体) 比増	前年度 (87団体) 比増	前年度比増	前年度比増 (毎年)	継続	2,000	2,000	維持	4,400	課長	0.10	順調	市民等に分かりやすく、安全な路面標示の設置に取り組む。	順調	市民等に分かりやすく、安全な路面標示の設置に取り組む。		
						実績 87 団体	5団体 増	前年度以下 (毎年)	係長							0.10	職員					0.30	
					路上喫煙率（歩行者に占める喫煙者の割合）	小倉 0.17% 黒崎 0.24% (H26年度)	目標 前年度 (小倉0.17%、 黒崎0.26%) 比減	前年度 (小倉0.17%、 黒崎0.24%) 比減	前年度 (小倉0.10%、 黒崎0.20%) 以下	前年度以下 (毎年)													

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）							成果の方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	中期 目標					金額 （千円）	職位	人数					
Ⅲ-2- (1)-② 地域における 伝統文化の 発掘・継承	29	文化財保存補助	文化企画課	伝統文化の継承者や保存団体の活動を育成・支援し、市内の伝統文化を発掘し、次世代に継承していく。	指定無形民俗文化財保存支援団体数	16団体 (H26年度)	目標 17 団体	15 団体	16 団体	16 団体	16団体 (H28以降 毎年度)	継続	1,007	1,052	増額	11,050	課長 0.20 人	係長 0.50 人	職員 0.50 人	順調	福岡県指定文化財の指定を受けている文化財が、「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されたため、補助金額の増額を行う。	順調	本市の伝統文化の発掘や継承を行うため、文化財的価値の調査や文化財の維持管理に資する補助制度の運用を行う。
	30	<新> 小倉祇園太鼓調査事業	文化企画課	平成28年3月2日、小倉祇園太鼓が国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されたことに伴い、その文化財としての価値を明らかにするべく、平成28年度から「小倉祇園太鼓調査委員会」を設置し、平成30年度まで調査を実施する。	調査報告書の刊行	—	目標				編集執筆	—	—	10,520	—	11,050	課長 0.20 人	係長 0.50 人	職員 0.50 人	—	小倉祇園太鼓が国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されたことに伴い、平成28年7月に「小倉祇園太鼓調査委員会」を設置し、文化財的価値を明らかにするための調査を開始した。平成28年度～平成29年度は調査を実施し、平成30年度に調査報告書の刊行を目指す。		

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
Ⅲ-2-(2)-② 市民の文化芸術活動の促進	35	芸術文化育成負担金・補助金	文化企画課	本市の文化水準の向上及び地域文化の振興を推進することを目的として、積極的に文化活動を展開している文化団体等の事業に対して、助成を行う事業。	各種文化事業の実施	16事業 (H23年度)	目標 16 事業 実績 16 事業 達成率 100.0 %	15 事業 15 事業 100.0 %	16 事業 16 事業	14 事業 14 事業	14事業 (平成29年度)	継続	41,450	36,350	減額	5,825	課長 0.05 人 係長 0.30 人 職員 0.30 人	順調	引き続き、本市の文化水準の向上や市民の文化活動の活性化を目指し、積極的に文化活動を展開している団体等の事業を助成していく。	順調	文化関係団体等への助成や基金を活用した支援事業を展開することで、市民の文化芸術活動の促進を図る。
	36	北九州市文化振興基金	文化企画課	北九州市の文化水準の向上と地域文化の振興に資することを目的として設置された北九州市文化振興基金運用果実により、市民の行う芸術・文化活動等に対し助成を行う。	北九州市文化振興基金奨励事業の補助件数	27件 (H21年度)	目標 25 件 実績 20 件 達成率 80.0 %	25 件 30 件 120.0 %	25 件 25 件	25 件 25 件	25件 (毎年度)	継続	10,130	11,190	増額	3,825	課長 0.05 人 係長 0.10 人 職員 0.30 人	順調	文化芸術に関する市民の自主的な活動を更に活発化し、その内容がレベルアップするよう引き続き効果的な支援を行っていく。		
Ⅲ-2-(2)-③ 市民が文化芸術に接する機会の拡大	37	美術館企画展充実事業	美術館普及課	美術館本館及び分館において、多彩で魅力ある企画展を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。	美術館の入館者数	245,420人 (H26年度)	目標 300,000 人 実績 245,420 人 達成率 81.8 %	150,000 人 153,707 人 102.5 %	113,000 人 113,000 人	220,000 人 220,000 人	220,000人 (H29年度)	拡大	80,120	126,811	増額	36,750	課長 0.25 人 係長 0.65 人 職員 3.65 人	やや遅れ	平成28年度中は休館していた美術館本館が、11月3日にリニューアルオープン予定である。記念事業として開催する大型展「ターナー展」、同時開催のコレクション展ともに多くの入館者を見込んでいる。また、分館については、引き続き院展をはじめ、幅広い企画展を開催し市民に美術に触れる機会を提供していく。	順調	平成29年度に美術館はリニューアルオープン、博物館は開館15周年を迎えることから、それぞれ魅力ある企画展等を実施し、利用者数の増加を図るなど、市民が文化芸術に接する機会の拡大に努める。
	38	博物館企画展・特別展充実事業	自然・歴史博物館普及課	企画展・特別展は、特定のテーマを設けて自然史や歴史に関する展示を行うことにより、市民が楽しく学べる場を提供し、本市の学術文化の発展を図るもの。 ＜平成29年度特別展＞ ・春の特別展「(仮)翔～飛ぶ、駆ける、泳ぐ」 ・夏の特別展「(仮)大昆虫博」 ・秋の特別展「(仮)小倉藩主小笠原忠真」 ・冬の特別展「(仮)アクア・キングダム」 ・春の特別展「(仮)Bones～骨、ほね、ホネ」	博物館総入館者数	369,711人 (H24年度)	目標 430,000 人 実績 474,939 人 達成率 110.5 %	410,000 人 472,389 人 115.2 %	420,000 人 420,000 人	420,000 人 420,000 人	420,000人 (毎年度)	継続	48,684	56,954	その他	74,600	課長 1.40 人 係長 1.80 人 職員 5.40 人	順調	平成29年11月に開館15周年を迎えるとともに、29年度中頃には、累計入館者600万人の達成も見込まれる。この勢いを維持発展させるため、周年という好機を逃さずソフト事業を充実させることで更なる集客を図る。		

市民文化スポーツ局

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）			
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数		
Ⅲ-2-(2)-④ 文化芸術 の担い手 の育成	39	＜新＞ 美術鑑賞事業 「（仮称） ミュージアム・ ツアー」	美術 館普 及課	市内の小学3年生を対象 に、美術作品の鑑賞他体 験型のプログラムを作成 し、子どもたちに体験し てもらおうことでシビック プライドの醸成をはか る。	参加校の割合	—	目標				15 %	100% (H32年 度)	—	—	6,000	—	25,650	課長	0.10 人	—	北九州市立美術館は、西日 本有数の近現代美術のコレク ションを有し、世界的な建築 家である磯崎新による建築と 市内を見渡す丘の上という立 地を特色としている。11月の リニューアルオープンを契機 に、特色を活かした新しい美 術鑑賞プログラムを実施す ることで、子どもたちのシビ ックプライドの醸成をはかる。	順調	前年度に引き続き、文化芸 術の担い手の育成に資する事 業を実施する。美術館におけ る教育普及事業の見直しとし て、小・中学生を対象に希望 制で行ってきた美術鑑賞教室 を充実させ、子どもたちのシ ビックプライドの醸成をはか る。	
							実績												係長					0.20 人
							達成率												職員					3.00 人
40	「合唱の街づく り」推進事業		文化 企画 課	市民の歌声があふれ る「合唱の街・北九 州」の実現に向けて、 子どもたちからシニア 世代まで幅広い多くの 市民が、合唱する側と して楽しむ側として 参加するまちづくりを 進めていく。	合唱関連事業にお ける歌い手として の参加者	682人 (H27年 度)	目標		—	1,000 人	1,200 人	1,200人 (平成29 年度)	拡大	8,000	12,000	増額	7,150	課長	0.10 人	順調	楽器を必要としない合唱 は、誰もが参加しやすく、他 世代と一緒に歌うことで世代 間交流の促進という効果も期 待される。今後は、より「合 唱の街・北九州」を市内外に PRしていくとともに、合唱 参加者のレベルアップを促 し、活動の活性化を図る。			
							実績			682 人								係長	0.30 人					
							達成率			— %								職員	0.40 人					
41	現代美術セン ター・CCA北 九州支援事業		文化 企画 課	CCA北九州は、現代美術 の世界的な拠点のひとつと なることを目指して活動し ている研究・学習機関で す。国内外から集まる現代 美術の若手アーティスト等 の指導育成、招聘アーティ ストによる新作発表のため の展覧会、国内外の第一線 で活躍する学芸員による 「キュレーターミーティ ング」を開催するとともに 、CCA北九州のネットワーク を活かして、その活動を 広く市民に浸透させるため の文化講座、子ども向け ワークショップなどの事業 を行っている。 これら事業を実施している CCA北九州を支援するもの である。	フェローシッププ ログラムの受講者 数	6人 (H23年 度)	目標	6 人	6 人	6 人	6 人	6人 (平成 29年 度)	継続	55,175	45,000	減額	8,150	課長	0.10 人	順調	フェローシップ・プログラ ムについては、一定レベルの 受講生の確保を図りつつ、学 研都市という周辺環境を活か し、受入れ分野の多様化や他 機関との協力をを行いながら 、充実したプログラムを実施 する。また、開催方法・諸経 費削減等の見直しをするよう 努めつつ、地域との連携はも とより、産学連携も視野に入 れた事業展開を検討し、より 多く幅広い事業参加者の確 保とCCAの浸透に努める。			
							実績	6 人	3 人									係長	0.70 人					
							達成率	100.0 %	50.0 %									職員	0.00 人					
42	子どもノンフィ クション文学賞		文学 館	「ノンフィクション」 というジャンルの作文 を書くことで、子ども たちが人間や社会への 関心をもつ契機とな り、思考能力や人間と しての成長を促すこと を目的に、平成21年度 に全国の小中学生を対 象に創設した。	市内からの応募割 合	35% (H24年 度)	目標	50 %				—	継続	12,500	12,502	維持	9,300	課長	0.20 人	やや 遅れ	応募地域の広がりを図り、 全国規模の賞としてふさわし い応募数、内容となることを 目指す。また、市内小中学校 にも直接働きかけ、市内から の応募数獲得に努める。			
							実績	39 %										係長	0.40 人					
							達成率	78.0 %										職員	0.40 人					
				17ブロック数のう ち作品応募のあつ たブロック数	12ブロック (H23年 度)	目標	17 ブロック				—	継続	12,500	12,502	維持	9,300	課長	0.40 人	やや 遅れ	応募地域の広がりを図り、 全国規模の賞としてふさわし い応募数、内容となることを 目指す。また、市内小中学校 にも直接働きかけ、市内から の応募数獲得に努める。				
						実績	12 ブロック										係長	0.40 人						
						達成率	70.6 %										職員	0.40 人						
				応募総数	1,000件	目標		1,000 件	1,000 件	1,000 件	1,000件 (H29年 度)	継続	12,500	12,502	維持	9,300	課長	0.40 人	やや 遅れ	応募地域の広がりを図り、 全国規模の賞としてふさわし い応募数、内容となることを 目指す。また、市内小中学校 にも直接働きかけ、市内から の応募数獲得に努める。				
						実績		570 件									係長	0.40 人						
						達成率		57.0 %									職員	0.40 人						

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号 ・ 施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
43	林芙美子文学賞 事業	文学館	文学館	「放浪記」、「浮雲」などの作品で知られ、特に短編の名手として評価の高い林芙美子の名を冠する文学賞。多くの文学者、作家を輩出した北九州市の豊かな文化的土壌を全国に発信するとともに、北九州市文化振興計画の重要な柱である「人材育成」に寄与することを目的とする。	「林芙美子文学賞」作品応募者数	1,602件 (H26年度)	目標 400 件	1,000 件	1,000 件	700 件	700件 (H29年度)	継続	16,000	16,000	維持	5,825	課長 0.05 人	係長 0.30 人	職員 0.30 人	順調	初年度の応募規定を見直し、より質の高い作品が応募されるものにした。また、受賞者が文学界で活躍する足がかりとなるような受賞後のフォローを行うよう努める。		
44	優れた文化・芸術との“出会い”創造事業	文化企画課	文化企画課	将来の文化・芸術の担い手を育成し、本市の文化振興をさらに進めるとともに、シビックプライドの情勢につなげていくため、若者や子どもたちを中心に優れた文化・芸術との“出会い”の場・機会を創造していく。	教育普及事業への参加者数の増加	2500人 (H27年度)	目標 /	/	2,500 人	3,000 人	3,000人 (平成29年度)	—	18,000	18,000	維持	8,725	課長 0.15 人	係長 0.40 人	職員 0.40 人	—	次代の文化の担い手育成や文化活動の活性化のため、若者や子どもたちを中心に、優れた文化・芸術活動に触れる機会を増やしていくとともに、様々な事業主体によって担われているアウトリーチ等の現状を把握し、より効果的・効率的に事業を実施する体制を構築していくため、行政や文化・福祉団体、研究機関等を含めた体制づくりを目指す。		

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
Ⅲ-2- (2)-⑤ 文化芸術 によるまちづくり	45	北九州市漫画 ミュージアム普 及事業	漫画 ミュージアム 事務局	北九州市漫画ミュージアムにおいて、常設展示の充実・企画展・イベント等の開催を通じて漫画文化の普及を目指す。	漫画ミュージアム年間入場者数	83,161人 (H27年度)	目標 100,000人 実績 92,819人 達成率 92.8%	100,000人 83,161人 83.2%	100,000人	100,000人	10万人/年	継続	62,755	73,050	増額	44,000	課長 1.00人 係長 1.00人 職員 3.00人	順調	さらなる漫画文化の普及及び海外との連携強化を図るため「(仮称)日中韓新人MANGA選手権」を開催する。また、今後重要となる海外集客に対応するため「海外集客対策事業」を実施する。		
	46	映像製作誘致強 化関連事業	文化 企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という新たな都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献 (直接経済効果)	100,000千円 (H21年度)	目標 110,000千円 実績 105,980千円 達成率 96.3%	110,000千円 106,909千円 97.2%		110,000千円	110,000千円 (毎年度)	継続	29,288	56,388	増額	36,100	課長 0.40人	順調	「映画の街・北九州」ブランドを国内外に発信するため、これまで主にタイをターゲットとして海外の映画・テレビドラマの誘致に取り組んできたが、ロケ地として関門海峡の魅力をもPRする下関市との連携事業により、ターゲットを韓国や中国にも拡大する。 また、アニメ作品の誘致にも積極的に取り組むこととする。		
					北九州フィルム・コミッションの市民への認知度	59.8% (H25年度)	目標 60.0% 実績 59.9% 達成率 99.8%	60.0% 58.7% 97.8%	65.0% 75.0%	80.0% (平成30年度)	職員 1.80人										
	47	北九州文学サロ ン管理運営事業 (旧・文学の 街・北九州発信 事業)	文化 企画課	女性俳句の草分けである杉田久女・橋本多佳子などのPR・顕彰に取り組むとともに、「北九州文学サロン」を拠点として、点在する文学的素材やさまざまな文化資源・文化的取組みをつなげる仕組みづくりを行う。	「北九州文学サロン」の来館者数	—	目標 — 実績 — 達成率 —	—	施設開館 12,000人	39,000人 (H29~31年度)	継続	22,000	12,000	減額	6,400	課長 0.10人 係長 0.30人 職員 0.30人	順調	平成29年度は、平成28年度に整備した「北九州文学サロン」を効果的に運営する。また、学生や地元商店街の協力による文学ツアー等での導線作りや、本市ゆかりの文学者を顕彰するための取り組みを具体的に進めていく。	順調	前年度に引き続き、文学や映画、漫画等を活用した各種イベントや事業を実施するとともに、本市ゆかりの文学者を顕彰するなど、文化芸術によるまちづくりに資する事業を展開する。	
	48	松永文庫企画事 業	文化 企画課	映画・芸能資料館「松永文庫」における企画展示・イベント等の積極的な開催を通じて、映画文化の振興、「映画の街・北九州」の情報発信に取り組む。	来館者数年間9万人	89,317人 (H26年度)	目標 — 実績 — 達成率 —	—	10万人 9万人	9万人/年	—	6,500	9,000	増額	4,150	課長 0.10人 係長 0.30人 職員 0.00人	—	日本批評大賞受賞により、全国から注目を集めていることから、企画展の内容拡充及び運営体制の充実を図る。			
49	児童文学の顕彰 事業	文化 企画課	本市ゆかりの児童文学を顕彰することを目的に、資料や情報資源を集約した場を設けて継続した調査・研究・普及していく拠点とする。	顕彰することを目的とした場の整備	—	目標 — 実績 — 達成率 —	—	計画策定 図面作成	完成 (平成30年度)	—	3,000	19,600	増額	6,400	課長 0.10人 係長 0.30人 職員 0.30人	—	平成28年度は本市の児童文学について、その顕彰の具体的な方法の調査・研究を行い、平成29年度は前年度の成果を反映した顕彰の場についての展示計画や図面の作成を行う。				

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施

【Check】 評価 / 【Action】 改善

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
Ⅲ-2-(3)-① 誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり	50	市民体育祭	スポーツ振興課	「市民皆スポーツ」をモットーに、スポーツ・レクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で明るい市民生活に寄与するため、市内全域で各種大会や行事を開催。	市民体育祭選手参加者数	30,367人 (H26年度)	目標 30,000人 実績 30,367人 達成率 101.2%	30,000人 30,623人 102.1%	30,000人 30,000人	30,000人 (毎年度)	継続	8,500	8,500	維持	4,650	課長 0.10人 係長 0.20人 職員 0.20人	順調	参加者数の目標については、達成している状況であるが、市内全域で行われる各種大会の運営をスムーズに行うことで、更なる大会の盛り上がりや、一般市民が大会に参加しやすいような仕組みづくりなど、工夫していきたい。			
	51	生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	市民への生涯スポーツ振興・普及のため、各区においてスポーツ教室、交流大会、ニューズスポーツ体験会などを開催。	各区におけるニューズスポーツ及びファミリースポーツ大会の参加人数	12,371人 (H26年度)	目標 12,000人 実績 12,371人 達成率 103.1%	12,600人 14,485人 115.0%	12,600人 12,600人	H30年度までに 30,000人	継続	20,279	20,279	維持	990	課長 0.01人 係長 0.05人 職員 0.05人	順調	市民の健康ニーズの高まりとともに、年々参加者数は増加しており目標は達成している。他のイベントとのタイアップ等、開催方法を工夫するなど、引き続き参加者の増加を目指す。			
	52	総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブは、人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブである。多世代、多目的、多志向を特徴とし地域住民等により自主・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブは、これからの地域スポーツの中核をなすものであり、その役割は大きいことから総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組む。	総合型地域スポーツクラブの会員数	1,800人 (H22年度)	目標 2,500人 実績 2,343人 達成率 93.7%	2,700人 2,265人 83.9%	2,900人 3,000人	H32年度までに 4,000人	継続	3,779	3,779	維持	2,325	課長 0.05人 係長 0.10人 職員 0.10人	順調	地域スポーツ施設の中核をなす総合型地域スポーツクラブへの育成・支援を継続し、会員数の増加を図る。また、クラブの質を高めるため、交流事業や勉強会を定期的に開催する。	順調	引き続き『誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり』を推進するため、既存事業（市民体育祭、生涯スポーツ振興事業等）への参加者数の更なる増加を目指すとともに、地域スポーツ振興の中核をなす総合型地域スポーツクラブの育成・支援を継続する。また、北九州マラソンの継続開催により、市民のスポーツ・健康に対する意識の更なる向上を目指すとともに、本市の魅力の全国発信を図る。	
	53	夢・スポーツ振興事業	スポーツ振興課	2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を踏まえ、国際・全国大会で活躍する選手を育成するため選手個々の能力を高める事業を実施。	教室・強化講習会等の実施 選手強化事業参加者数	— 210人 (H26年度)	目標 教室・強化講習会等実施 — 達成率 —	— 300人 400人 90.3%	5回以上 5回以上	毎年度5種目以上 (H31年度まで)	継続	6,000	8,000	増額	6,305	課長 0.02人 係長 0.24人 職員 0.49人	順調	市民に感動を与え、元気なまちづくりに寄与する重要な施策として継続する予定。今後の選手強化事業の種目については、各協議団体との競技のうえ検討し、毎年5種目以上の実施を維持する。			
54	北九州マラソン開催事業	スポーツ振興課	・主催：北九州市、（一財）福岡陸上競技協会 ・主管：北九州マラソン実行委員会 ・後援：国土交通省九州地方整備局北九州国道事務所ほか25団体 ・コース：北九州市役所前～東田地区～戸畑駅前～東港～門司港～北九州国際会議場前 ・種目及び参加人数（予定）マラソン：10,500名、ベアリレーマラソン：150組300名、ファンラン（3km又は5km）：1,000名 ・大会当日および前日に関連イベントを開催	マラソン大会開催による経済波及効果 インターネットでのマラソン大会全国評価ランキング（参加者7,000人以上の大会を対象）	10.5億円 (H25年度) 5位 (H28年、6月時点)	目標 H26年度は未測定 実績 — 達成率 —	11.5億円 11.5億円 11.5億円	11.5億円 11.5億円	11.5億円 (H29年度)	継続	103,571	104,458	維持	77,250	課長 1.50人 係長 3.00人 職員 4.00人	順調	より安全・快適で満足度の高い大会となるよう、2017大会（H28年度実施）から、定員枠を拡大（マラソン：500人、ベアリレーマラソン50組100人）した。				

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
Ⅲ-2- (3)-② スポーツ を通した にぎわい づくり	55	国際大会・全国大会等スポーツ開催	スポーツ振興課	市内において国際大会・全国規模の大会の開催を行い、多くの市民にスポーツに関心を高め、「みる」スポーツのニーズを引き出すとともに、スポーツに取り組むきっかけをつくる。また、参加選手の高いレベルに接することで、個々の競技力の向上につなげる。	国際・全国大会等の開催数	29回 (H26年度)	21回	20回	26回	27回	30回 (H32年度)	継続	3,650	3,650	維持	2,615	課長 0.01人	順調	関係団体と連携を密にし、より多くの全国大会等の開催と、スポーツイベントへの参加者の増加を目指す。	順調			
				大型スポーツイベント（自主事業）の参加人数	3,000人 (H26年度)	3,116人	3,000人	3,221人	3,000人	3,000人	定員 3,000人 (毎年度)					係長 0.10人							
																職員 0.20人							
56	ギラヴァンツ北九州支援事業	スポーツ振興課	本市唯一のプロスポーツチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助。	ギラヴァンツ北九州の市民認知度	87% (H26年度)	90%	90%	90%	90%	90% (H29年度)	継続	60,000	60,000	維持	3,075	課長 0.05人	やや遅れ	北九州スタジアムが完成することから、まちのにぎわいづくりと「みる」スポーツの更なる振興に寄与するため、本市唯一のプロスポーツチームである『ギラヴァンツ北九州』への支援を継続する。	順調				
				ギラヴァンツ北九州主催試合の平均入場者数	3,622人 (H26年度)	4,500人	4,500人	4,500人	5,000人	5,000人 (H29年度)					係長 0.10人								
																職員 0.20人							
57	ホームタウン推進事業	スポーツ振興課	本市をホームタウン・準ホームタウンとする、「ギラヴァンツ北九州」や「塚プレイザーズ」「福岡ソフトバンクホークス」等の市民観戦事業や、体験教室の開催など、市民がスポーツに親しむきっかけ作りを実施。	スポーツ観戦率	23% (H26年度)	28%	34%	40%	40%	40% (H29年度)	継続	64,450	64,450	維持	6,575	課長 0.05人	順調	引き続き市民がスポーツ観戦できる機会を積極的に提供するとともに、参加者より好評を得ているプロスポーツ選手によるスポーツ教室等を継続し、市民のスポーツ熱のさらなる高まりを目指す。	順調				
															係長 0.15人								
																職員 0.60人							
58	大規模国際大会誘致関係事業	大規模大会誘致推進室	生涯スポーツの振興やまちなぎわいづくりへとつながる大規模国際大会の試合会場及び、ラグビーワールドカップ2019日本大会や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等のキャンプ地を本市に誘致すること、並びに誘致前後のスポーツ交流や文化交流等へとつなげることを目的として、戦略的な誘致プロモーションの展開や、官民一体となった「誘致委員会」による積極的な活動を行う。	ラグビーワールドカップ2019及び2020東京オリンピック・パラリンピックにおけるキャンプ地誘致数	-	戦略的な誘致プロモーション活動等の実施	戦略的な誘致プロモーション活動等の実施	戦略的な誘致プロモーション活動等の実施	戦略的な誘致プロモーション活動等の実施	1ヶ国又は1協議以上 (H31年度)	継続	30,000	71,950	増額	41,500	課長 1.00人	順調	ラグビーワールドカップ2019日本大会及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたキャンプ地誘致活動が本格化する中、他都市との誘致競争をより有利に進めるため、事業の拡充を行い、これまで以上に積極的な誘致活動を行う。	順調				
				国際大会や全国大会等の誘致	4件 (H27年度)	1件	3件	3件	3件	15件以上 (H27~31年度)					係長 1.50人								
																職員 2.00人							
59	北九州スタジアム維持管理事業	スポーツ振興課	北九州スタジアムは、都心部に人が集い、にぎわいあふれる北九州市の創出を目指し、「Jリーグやラグビートップリーグなどの試合、小中高生のサッカー・ラグビー大会、グラウンド・ゴルフ大会、子どもたちへの芝生開放などに加え、まちなぎわいを生み出すイベントの開催など、市民に夢と感動を提供できる施設である。施設の適切な維持管理・運営を実施することで、「みる」スポーツの機会提供の充実を図り、スポーツを通したまちなぎわいを生み出す。	「みる」スポーツの機会提供の充実（グラウンドの年間利用日数）	-	100日	100日	100日	100日	100日 (毎年度)	-	-	102,355	-	2,750	課長 0.05人	-	施設の適切な維持管理・運営を実施することで、「みる」スポーツの機会提供の充実を図り、スポーツを通したまちなぎわいを生み出す。	-				
															係長 0.09人								
																職員 0.17人							

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施

【Check】 評価 / 【Action】 改善

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
Ⅲ-3-(1)-① 市民主体の地域づくりの促進	60	地域総括補助金	地域振興課	各地域団体が連携・協力し、まちづくり協議会を中心として地域づくりを促進するため、これまで市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	地域総括補助金を導入したまちづくり協議会数	130団体 (H26年度)	目標 136 団体	実績 130 団体	134 団体	134 団体	137団体 (H30年度)	継続	384,295	389,826	維持	3,825	課長 0.05 人	係長 0.10 人	職員 0.30 人	順調	地域が一体となった、住民主体の地域づくり・まちづくりを促進するため、引き続きまちづくり協議会や、地域で様々な取り組みを行う各種地域団体等に対し、地域総括補助金を交付する。	順調	地域が一体となった、住民主体の地域づくり・まちづくりを促進するため、まちづくり協議会や、地域で様々な取り組みを行う各種地域団体等に対し、地域総括補助金の交付や、各種支援事業などの地域のニーズに応じた施策を展開する。
	61	住民主体の地域づくりの促進	地域振興課	まちづくり協議会の活性化を図るため、地域課題解決のアイデア等を盛り込んだ「地域カルテ」の作成や、地域カルテに基づく活動を支援するフォローアップ事業を行うとともに、活動の参考となる事例の紹介等を行う「地域のちから」報告会や、「地域づくりマネジメント研修」を開催し、住民主体の地域づくりを促進する。	地域カルテフォローアップ事業を実施したまちづくり協議会の数	—	目標 10 団体	実績 9 団体	10 団体	10 団体	住民主体の新たな地域づくりが活発に御行われている状態	継続	6,326	5,726	減額	3,575	課長 0.05 人	係長 0.15 人	職員 0.20 人	やや遅れ	住民が参加するワークショップを開催して、地域情報や課題解決アイデアを盛り込んだカルテを作成し、また、地域カルテに基づき課題解決に向けて新たな活動を実施するまちづくり協議会を支援する。	順調	
Ⅲ-3-(1)-② 地域コミュニティ施設の活用・運営	62	市民センターの充実	地域振興課	市民センターの管理運営を円滑・適正に行うため、公募により多様な人材を市民センター館長として採用し、地域の活動を担うまちづくり協議会への管理委託などを行う。また、市民センターを拠点とした地域づくりを推進するため、未整備校区に市民（サブ）センターを整備し、老朽化対策やバリアフリー化を図り計画的な改修を行う。	市民センター1館当たりの利用者数	41千人 (27年度)	目標 42 千人	実績 41 千人	42 千人	42 千人	42千人 (毎年度)	拡大	2,214,277	2,216,023	維持	46,250	課長 1.00 人	係長 1.00 人	職員 3.30 人	順調	市民センターを拠点とした地域づくりを促進するため、老朽化対策やバリアフリー化等ハード面を整備するとともに、館長及び市民センター職員の能力向上を図る研修や、タイムリーな情報発信等ソフト面の充実に努め、利用者の増加を図る。	順調	地域コミュニティの拠点として更なる活用が見込めるよう、各市民センターの老朽化対策やバリアフリー化、同センター職員の能力向上を図るための研修を実施する。
					市民センターにおけるコミュニティ活動の参加人数（延べ）	2,084千人 (27年度)	目標 1,955 千人	実績 2,084 千人	1,955 千人	2,200 千人	2,200 千人						2,200千人 (毎年度)						
Ⅲ-3-(1)-③ 自治会・町内会への加入促進	63	自治会・町内会活性化の促進	地域振興課	自治会と連携しながら、加入率向上や組織・活動の見直し及び人材育成など新たな課題への対応につながる様々な事業に取り組み、自治会・町内会の活性化を図る。	地域づくり活動へ肯定的な考えの市民の割合	75.4% (H23年度)	目標 85 %	実績 80.3 %	85 %	85 %	85% (毎年度)	継続	36,822	36,872	維持	4,095	課長 0.03 人	係長 0.30 人	職員 0.10 人	順調	自治会・町内会を取り巻く課題を解決し活性化を促進するために、マンション等の管理会社等の関係者に積極的に働きかけていくほか、引き続き地域コミュニティの重要性や自治会の必要性について幅広く理解を求め、地域でリーダーシップを発揮する人材や地域活動の担い手育成支援を積極的に行い、自治会・町内会の加入促進や活性化を図っていく。	順調	自治会・町内会への加入促進や活性化に繋がるよう、マンションへの働きかけや、地域活動の担い手の育成を図るとともに、地域コミュニティの重要性について幅広く訴えていく。
					地域づくり活動への参加者の割合	40.5% (H23年度)	目標 46 %	実績 38.9 %	46 %	46 %	46% (毎年度)												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数	
Ⅲ-3-(2)-① NPO、ボランティア活動の支援	64	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数（累計）	18法人 (H24年度)	目標	45 法人	60 法人	75 法人	90 法人	90法人 (H29年度)	継続	20,420	20,137	維持	20,700	課長	0.30 人	順調	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会等を引き続き開催するとともに、地域に支えられるNPOを育成するため、研修等の充実を図る。	順調	市民活動の裾野を広げるため、活動のきっかけづくりとなるセミナー等を引き続き開催するとともに、NPO育成のための研修を充実させる。また、NPOへの資金的な支援を引き続き行っていく。
						実績	47 法人	60 法人										係長	0.60 人				
	65	NPO公益活動支援事業	市民活動推進課	市民活動の更なる促進を支援するため、NPO等が専門性を発揮して行う活動に対し、事業費の一部を補助する。	サポートセンター利用者数	18,362人 (H20年度)	目標	23,000 人	23,500 人	24,000 人	24,500 人	24,500人 (H29年度)	継続	2,744	2,489	減額	3,775	職員	1.50 人	順調	NPOへの資金的な支援は継続して実施する。	順調	
						実績	23,127 人	23,623 人										係長	0.15 人				
66	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	補助交付事業件数（累計）	15件 (H21年度)	目標	48 件	68 件	74 件	80 件	80件 (H29年度)	継続	4,698	4,698	維持	3,470	課長	0.10 人	順調		順調	NPO、企業、大学等との連携を構築するため、引き続き交流会を開催するなど側面的な支援を行う。	
					実績	62 件	72 件										職員	0.15 人					
67	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	26人 (H22年度)	目標	230 人	280 人	330 人	380 人	380人 (H29年度)	継続	4,698	4,698	維持	3,470	課長	0.03 人	順調	引き続きNPOや企業等との交流会を実施するとともに、各団体が自主的に協働できるよう側面的に支援していく。	順調	引き続き、協働意識向上のための研修の充実、協働事例の情報発信に取組み、協働を進めるための人材育成に努める。	
					実績	250 人	296 人										係長	0.20 人					
68	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	5件 (H29年度)	目標	550 人	700 人	1,000 人	1,250 人	1,250人 (H29年度)	継続	1,919	1,962	維持	8,300	課長	0.20 人	順調	引き続きNPOや企業等との交流会を実施するとともに、各団体が自主的に協働できるよう側面的に支援していく。	順調	引き続き、協働意識向上のための研修の充実、協働事例の情報発信に取組み、協働を進めるための人材育成に努める。また、NPOや企業等との交流会等の側面的な支援も実施する。	
					実績	639 人	929 人										係長	0.30 人					
68	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	5件 (H29年度)	目標	550 人	700 人	1,000 人	1,250 人	1,250人 (H29年度)	継続	4,698	4,698	維持	3,470	課長	0.03 人	順調	引き続きNPOや企業等との交流会を実施するとともに、各団体が自主的に協働できるよう側面的に支援していく。	順調		
					実績	639 人	929 人										係長	0.20 人					
68	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	5件 (H29年度)	目標	550 人	700 人	1,000 人	1,250 人	1,250人 (H29年度)	継続	4,698	4,698	維持	3,470	職員	0.15 人	順調	引き続きNPOや企業等との交流会を実施するとともに、各団体が自主的に協働できるよう側面的に支援していく。	順調		
					実績	639 人	929 人										職員	0.15 人					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
Ⅲ-3-(3)-② 市民との協働を推進できる 市役所づくり	69	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数（累計）	18法人 (H24年度)	目標 45 法人 実績 47 法人 達成率 104.4 %	60 法人 60 法人 100.0 %	75 法人	90 法人	90法人 (H29年度)	継続	20,420	20,137	維持	20,700	課長	0.30 人	順調	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会等を引き続き開催するとともに、地域に支えられるNPOを育成するため、研修等の充実を図る。	順調	市民との協働を推進するため、引き続き、活動のきっかけづくりとなるセミナー等の充実、協働意識向上のための研修の充実、協働事例の情報発信に取り組んでいく。
		サポートセンター利用者数	18,362人 (H20年度)	目標 23,000 人 実績 23,127 人 達成率 100.6 %	23,500 人 23,623 人 100.5 %	24,000 人	24,500 人	24,500人 (H29年度)	係長	0.60 人	職員						1.50 人					
70	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数（累計）	203人 (H22年度)	目標 550 人 実績 639 人 達成率 116.2 %	700 人 929 人 132.7 %	1,000 人	1,250 人	1,250人 (H29年度)	継続	1,919	1,962	維持	8,300	課長	0.20 人	順調	多様化・複雑化する市民ニーズに対応しながら、市とNPO等とが、協働して地域課題の解決に取り組むことが重要である。協働意識向上のための研修の充実、協働事例の情報発信に取組み、協働を進めるための人材育成に努める。	順調		
				収入増加団体数（累計）	3団体 (H26年度)	目標 3 団体 実績 3 団体 達成率 100.0 %	6 団体 6 団体 100.0 %	8 団体	10 団体	10団体 (H29年度)						係長	0.30 人					職員
IV-2-(2)-② ソーシャルビジネス創出の支援	71	市民活動団体等による環境未来都市推進支援事業	市民活動推進課	環境未来都市計画が掲げる目標を達成するため、NPOなどの提案団体と市が協働して取り組む事業に経費の一部を補助。	補助交付事業件数（累計）	6件 (H24年度)	目標 15 件 実績 16 件 達成率 106.7 %	20 件 22 件 110.0 %	25 件	31 件	31件 (H29年度)	継続	4,954	5,206	増額	3,775	課長	0.10 人	順調	協働の理解浸透を図る研修、成果発表会の開催、事例紹介等を通して、行政と協働できるNPOの育成に努める。また、NPOと企業が協働を行うきっかけが少ないため、本補助金の対象を企業・地域団体等へ拡大し、協働事業立ち上げを支援する。	順調	引き続き協働の理解浸透を図る研修等を実施し、行政と協働できるNPOの育成に努めるとともに、NPOと企業、地域団体等との協働事業立ち上げを支援する。
											係長						0.15 人	職員				
IV-4-(1)-② 偉人・先人の顕彰	72	文学館普及研究費	文学館	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介するとともに、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信する。	企画展の入館者数（単位：人）	10,741人 (H23年度)	目標 22,000 人 実績 26,564 人 達成率 120.7 %	22,000 人 23,436 人 106.5 %	22,000 人	22,000 人	22,000人 (H29年度)	継続	19,125	18,624	維持	12,625	課長	0.50 人	順調	引き続き企画展や文学館のPRを行うなど、市民が文学に接する機会の提供に努め、入館者数の増加に繋げる。	順調	
		73	松本清張記念館研究センター・普及事業	松本清張記念館事務局	松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業の実施や研究しを発行する。また、松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業の実施する。さらに、企画展の開催や講演会、読書感想文コンクールなどの市民芸活動支援事業を行う。	松本清張記念館の入館者数	58,187人 (22年度)	目標 60,000 人 実績 41,025 人 達成率 68.4 %	60,000 人 46,278 人 77.1 %	入館者実績の 対前年度増	入館者実績の 対前年度増						入館者実績の 対前年度増 (毎年度)	継続				
				企画展入場者の満足度	85% (22年度)	目標 90 % 実績 86 % 達成率 95.6 %	90 % 85 % 94.4 %	90 %	90 %	90%以上 (毎年度)	係長	1.00 人	職員	1.00 人								

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）			
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数		
IV-4-(2)-③ 都市イメージの向上	74	映像製作誘致強化関連事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という新たな都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献 （直接経済効果）	現状値 （基準値）	100,000千円 （H21年度）	目標	110,000 千円	110,000 千円	110,000 千円	110,000 千円	110,000千円 （毎年度）	継続	29,288	56,388	増額	36,100	課長	0.40 人	順調	「映画の街・北九州」ブランドを国内外に発信するため、これまで主にタイをターゲットとして海外の映画・テレビドラマの誘致に取り組んできたが、ロケ地として関門海峡の魅力をPRする下関市との連携事業により、ターゲットを韓国や中国にも拡大する。また、アニメ作品の誘致にも積極的に取り組むこととする。	順調	下関市と関門海峡というロケーションを活かしたロケ地誘致を行うことで都市イメージの向上を図る。
						実績	105,980 千円	106,909 千円																
						達成率	96.3 %	97.2 %																
						目標	60.0 %	60.0 %	65.0 %	75.0 %														
VI-1-(1)-① 市民の力で環境力を高める仕組みづくり	75	市民活動団体等による環境未来都市推進支援事業	市民活動推進課	環境未来都市計画が掲げる目標を達成するため、NPOなどの提案団体と市が協働して取り組む事業に経費の一部を補助。	補助交付事業件数 （累計）	現状値 （基準値）	6件 （H24年度）	目標	15 件	20 件	25 件	31 件	31件 （H29年度）	継続	4,954	5,206	増額	3,775	課長	0.10 人	順調	協働の理解浸透を図る研修、成果発表会の開催、事例紹介等を通して、行政と協働できるNPOの育成に努める。また、NPOと企業が協働を行うきっかけが少ないため、本補助金の対象を企業・地域団体等へ拡大し、協働事業立ち上げを支援する。	順調	引き続き協働の理解浸透を図る研修等を実施し、行政と協働できるNPOの育成に努めるとともに、NPOと企業、地域団体等との協働事業立ち上げを支援する。
						実績	16 件	22 件																
						達成率	106.7 %	110.0 %																
						目標	60.0 %	60.0 %	65.0 %	75.0 %														